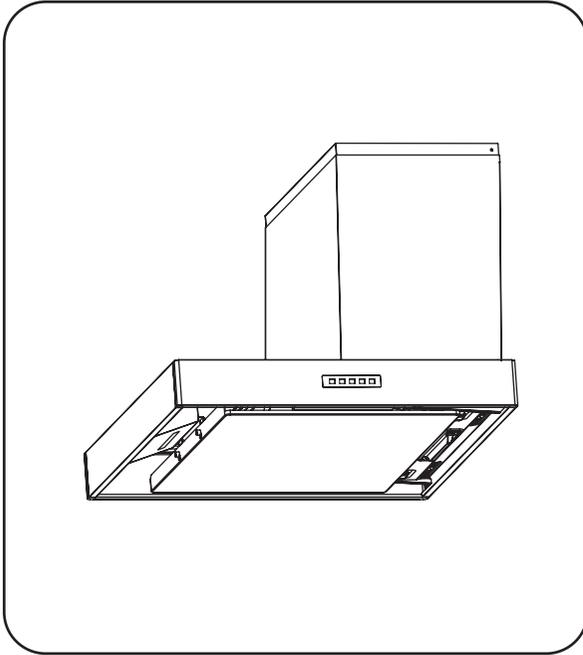


取扱説明書

サイドフード

シロッコファンタイプ

品番
S82AHWZ2MR 750幅(右壁設置用)
S82AHWZ2ML 750幅(左壁設置用)



家庭用 保証書付

もくじ

安全上のご注意	2
使用上のお願い	3
各部の名前	4
使いかた	5~7
お手入れのしかた	8~18
故障かな!?	20
保証とアフターサービス	21
仕様	22
保証書	23

換気連動システム対応型

このサイドフードは、弊社換気連動システムに対応した調理機器との組み合わせにより、換気連動システムとしても使用することができます。

適応する調理機器は販売店にご確認ください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書(23ページ)は、「お引き渡し日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

 警告	
	絶対に分解したり、修理・改造しない 火災・感電・けがの原因になります。 ●修理はお買い上げの販売店・工事店またはこの説明書に記載の「修理ご相談窓口」へご相談ください。
	モーターやスイッチなどの電気部品に水や洗剤をかけたりしない ショートや感電のおそれがあります。
	分電盤のブレーカーをぬれ手で切/入しない 感電のおそれがあります。
	禁止 ガス漏れのときはサイドフードのスイッチを入れたり切ったりしない スイッチ火花によりガス爆発の原因となります。
	必ず守る a.c.100Vで使用する 火災・感電の原因となります。
	電気工事、管工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」がおこなう 火災、感電のおそれがあります。

 注意	
	接触禁止 運転中や停止後しばらくの間は、羽根の中に指や物を入れない けがをするおそれがあります。
	禁止 フード本体の上には物を置かない 落下により、けがをするおそれがあります。
	お手入れの際は、換気連動システムに対応した調理機器を操作しない けがをするおそれがあります。
	フード本体にぶら下がったり、もたれたりしない 落下して、けがをするおそれがあります。
	照明を直接見ない 目がくらんだり、傷めたりするおそれがあります。
	電源プラグを抜く 長期間使用しないときは、電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。
	必ず守る 使用を終了した製品は放置せず、撤去する 万一の場合、落下により、けがをするおそれがあります。
	設置工事は必ず専門の工事業者に依頼する けがをするおそれがあります。
	本体はしっかり取り付けられているか、確認する 落下により、けがをするおそれがあります。
	部品は確実に取り付ける 落下したり、けがをするおそれがあります。
	お手入れの際は、次のことを守る ・厚手のゴム手袋を使用する ・部品が十分冷めてからおこなう ・本体のスイッチを「切」にし、スイッチをロックする (5ページ) やけどやけがをするおそれがあります。

使用上のお願い

使用中は

■調理の際は、必ずサイドフードを運転してください。

運転しないとサイドフード内が高温になり、故障の原因となります。

■サイドフード運転時は、十分な給気を確保してください。

給気が不足すると、不完全燃焼・吸い込みが悪くなる・異臭がする・扉が開きにくくなる・すきま風の音が大きくなるなどの現象が発生します。

■油に火がついたときは運転を停止してください。

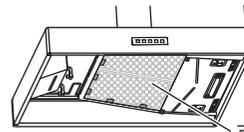
サイドフードが動作していると火の勢いがさらに強くなります。

■調理部周辺に風があたらないようにしてください。

エアコンなどの風を受けると、吸い込みが悪くなります。
特に、IH調理機器は調理による上昇気流が少ないため、油煙がフードから漏れやすくなります。

■フィルターやフード本体に市販のフィルターを重ねて使用しないでください。

吸い込みが悪くなり、異音が発生する場合があります。



市販のフィルターを重ねて使用しない

■炎のあがる調理はしないでください。

サイドフード内の異常高温による故障の原因となります。

■テレビやラジオなどは、フード本体から1m以上離してお使いください。

放送電波に雑音が入り、聞こえにくくなったり、耳ざわりに感じる場合があります。

IH調理機器を使うときは

■冬期など気温の低い時期は、結露（水滴）が生じることがあります。

フード本体：結露（水滴）が滴下する前にふき取ってください。
整流板、オイルキャッチ：こまめに水を捨ててください。

お手入れのときは

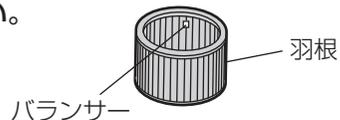
■羽根を外した状態でスイッチを入れないでください。

回転数が上がり、モーターが焼きつくことがあります。

■バランスは外さないでください。

異音や故障の原因となります。

※バランスが外れた場合は、必ずお買い上げの販売店、工事店または裏表紙に記載の修理ご相談窓口へ修理を依頼してください。



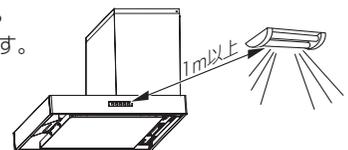
製品の移設やリフォーム時の注意

■受信部と照明器具を近づけすぎない。

照明器具が受信部から1m以内に設置された場合、換気連動システムが正常に動作しないことがあります。

■直射日光が当たるなど、極端に明るい場所には設置しない。

調理機器側からの赤外線の影響が妨げられ、動作しないことがあります。



各部の名前

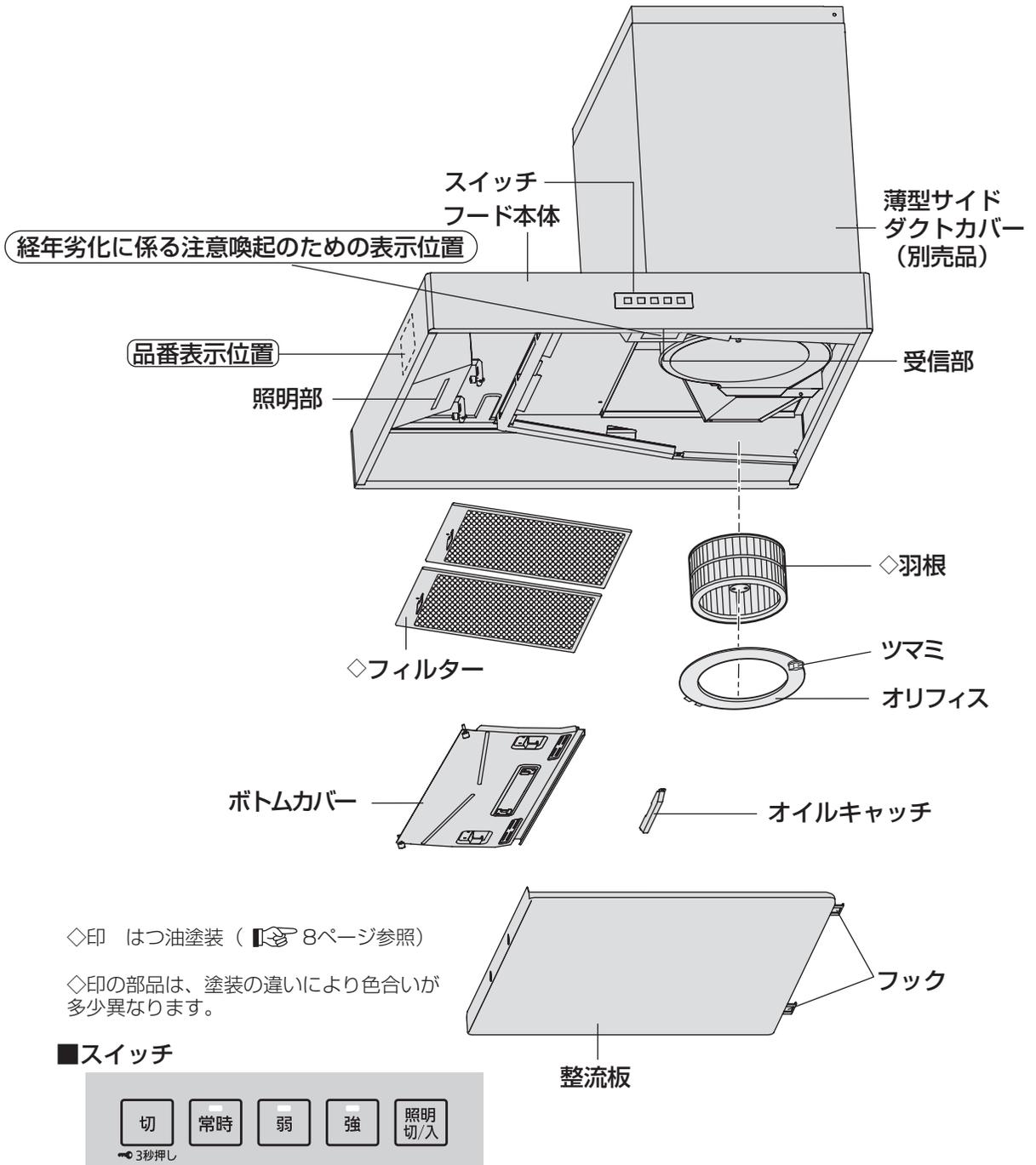
品番および経年劣化に係る注意喚起のための表示位置

※イラストはS82AHWZ2MRを示します。

お願い

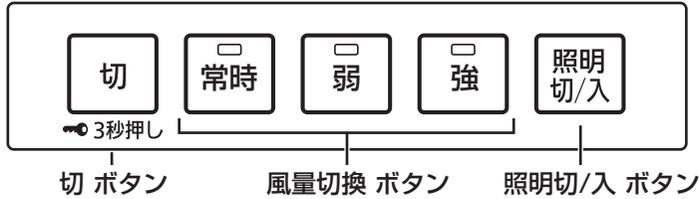
品番をご確認ください。

(修理依頼などのアフターサービスをご利用の際に、品番が必要になります)



使いかた

■スイッチ



<div style="text-align: center;"> 風量切換 ボタン </div>	<h3>押したボタンの風量で運転を開始する</h3> <p>停止中に1回押しすると、約5秒後に押したボタンの風量で運転します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> 常時 住宅全体の連続換気。 油煙の非常に少ないとき。 </div> <div style="text-align: center;"> 弱 油煙の量に合わせて使い分けます。 弱…油煙の少ないとき。 強…早く換気したいとき・油煙が多いとき。 </div> <div style="text-align: center;"> 強 * サイドフード運転中は、風量に合わせて風量切換ボタンが点灯します。 </div> </div>
<div style="text-align: center;"> 照明切/入 ボタン </div>	<h3>照明をつける/消す</h3> <p>押すごとにON⇔OFFします。</p>
<div style="text-align: center;"> 3秒押し 切 ボタン </div>	<h3>運転中に押すと運転を停止する</h3> <p>「常時」で約3分間運転（残置運転）したあと停止します。 ※残置運転は、調理後の部屋に残ったニオイを排気するための機能です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">残置運転開始</div> 1回押し </div> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">すぐに停止</div> 2回押し </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> </div> <h3>停止中に3秒長押ししてスイッチをロックする/解除する</h3> <p>お手入れの際、けが防止のためにスイッチを操作できなくします。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ロックする</div> 3秒長押し </div> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">解除する</div> 3秒長押し </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>※ロック時は他のスイッチを操作しても運転しません。 (ピーピーピーピー音) ※ファン停止時のみロック設定が可能です。</p> </div>

常時換気運転について

本サイドフードは建築基準法による住宅の常時換気をおこなう設備として使用できます。
 ■常時換気設備として使用する場合は、スイッチ近傍に「24時間連続換気してください」の
 お願いラベルが貼ってあります。
 ・調理時やお手入れ時以外は、常に「常時」運転で連続換気をおこなってください。

使いかた (続き)

換気連動システム (換気連動システム対応の調理機器をご使用の場合)

調理機器からの赤外線信号をサイドフードが受信し、自動的に運転/停止します。

調理機器の操作	サイドフードの動作	風量表示	照明
入	「弱運転」します。	 が点灯	点灯 ※1
切	「常時」で約3分間運転 (残置運転) ※2 したあと停止します。	 が点滅し、その後消灯	消灯 ※3

※1 照明連動モードが解除されていると、照明は点灯しません。(7ページ)

※2 常時換気モードに設定されているときはサイドフードは停止せず、風量「常時」で24時間連続運転します。(7ページ)

※3 手で照明操作すると、手動での照明操作が優先され、照明の連動はしなくなります。

赤外線信号をさえぎると換気連動システムが働かないことがあります。

IH調理機器では

調理機器の送信部から本機の受信部へ赤外線信号を送っています。

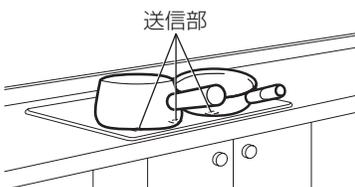
 赤外線信号をさえぎらないように操作する。



 サイドフードの真下に頭を近づけない。



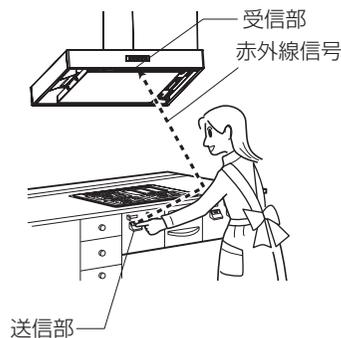
 鍋などで、送信部を隠さない。



ガス調理機器では

赤外線信号を人に反射させています。

 カウンターから約20~30cm離れ、送信部の正面で操作する。





● 次のような場合は連動しないことがあります。

- ・送信部に近すぎる
- ・送信部から離れすぎている
- ・正面に立っていない
- ・黒っぽい服を着ている

(赤外線信号が反射されにくいのため)

連動しないときは、サイドフードの風量切替ボタンで操作してください。

● ガス調理機器の電池が消耗すると正常に動作しません。調理機器の説明書を確認し、電池を交換してください。

・換気連動システムは、弊社換気連動システム付調理機器との組み合わせが必要です。

(他社製調理機器との組み合わせでは動作しないことがあります)

対応調理機器については販売店までお問い合わせください。

・調理機器の取扱説明書もよく読んでご使用ください。

・換気連動システムが正しく動作しているか、調理機器のスイッチでご確認ください。

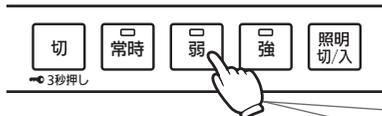
各種連動モード、常時換気モードを変更した場合、停電やお手入れ時にブレーカーを切ったあとなどの電源投入時にはシステムの設定が初期状態に戻りますので、再度設定する必要があります。

連動モードの設定を変える

換気連動システム対応の調理機器をご使用の場合に設定できます。設定すると、調理機器の操作と連動してサイドフードが動作します。

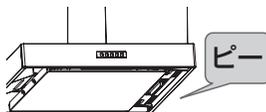
換気連動モードの設定/解除

調理機器の「切/入」と連動して運転します。販売時は「設定」されています。



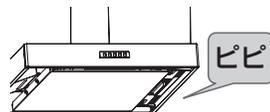
解除

停止状態で3秒以上押す。



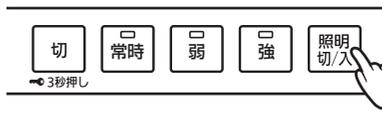
再設定

再度3秒以上押すと「換気連動モード」に設定されます。



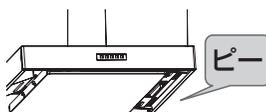
照明連動モードの設定/解除

換気連動モードが設定されているときに照明も連動します。販売時は「設定」されています。



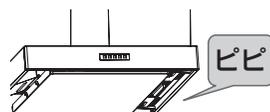
解除

停止状態で3秒以上押す。



再設定

再度3秒以上押すと「照明連動モード」に設定されます。



※換気連動モードが解除されているときは、照明連動モードの設定ができません。

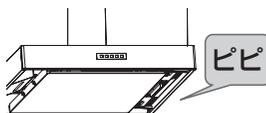
常時換気モードの設定/解除

サイドフードを常時換気設備として使用する場合に設定します。販売時は「解除」されています。



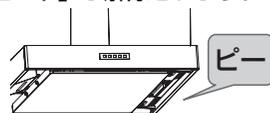
設定

停止状態で3秒以上押す。



解除

再度3秒以上押すと「常時換気モード」が解除されます。



※スイッチ近くに「24時間連続換気してください」のラベルが貼ってある場合、建築基準法により常時換気が必要な建物です。「常時換気モード」を設定してご使用ください。

※調理機器を切ると、残置運転後に常時で24時間連続換気します。

※調理機器を切ると、残置運転後に停止します。

お手入れのしかた

(フィルター、オイルキャッチは交換部品としてお求めになれます)

 警告	
 水ぬれ禁止	モーターやスイッチなどの電気部品に水や洗剤をかけたりしない ショートや感電のおそれがあります。

 注意	
 接触禁止	運転中や停止後しばらくの間は、羽根の中に指や物を入れない けがをするおそれがあります。
 禁止	お手入れの際は、換気連動システムに対応した調理機器を操作しない けがをするおそれがあります。
 必ず守る	お手入れの際は、次のことを守る ・厚手のゴム手袋を使用する ・部品が十分冷めてからおこなう ・本体のスイッチを「切」にし、スイッチをロックする ( 5ページ) やけどやけがをするおそれがあります。

各種連動モード、常時換気モードを変更した場合、お手入れ後の電源投入時にはシステムの設定をご確認ください。(7ページ参照)

お願い

- 製品の変色、変質、変形防止のため、下記の洗剤などは使わないでください。
- 部品の変色、変質、変形防止のため、高温(浴用より高い)の湯の漬け置き洗いや食器洗い乾燥機の使用などはしないでください。
- 高圧清掃水、高温スチームは使用しないでください。
- ・汚れを長期間放置すると、油の滴下や汚れが落ちなくなったり、部品が外れなくなったりすることがあります。早めにお手入れをしてください。
- ・お手入れ時は調理をやめ、鍋などはサイドフードの下に置かないでください。
- ・高い所での作業は、足元に十分注意してください。



塗装の変質・変色・はがれ防止のため、下記のようなものなどは使用しないでください。



はつ油塗装について

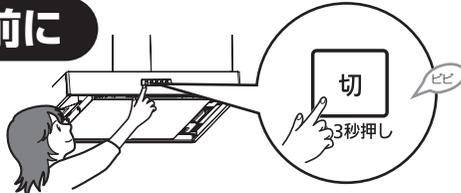
- フィルター、羽根には油汚れの取りやすい「はつ油塗装(フッ素処理)」をしています。

お願い

- ・油汚れをとりやすくする効果を生かすため、「お手入れのしかた」にしたがって掃除してください。長い間掃除しないと油汚れが落ちにくくなる場合があります。
- ・金属たわしなどの硬いものは、コーティングを傷付けますので使用しないでください。

お手入れの前に

- ①スイッチを
ロックする
「切」を3秒長押し



- ②厚手のゴム手袋
をする



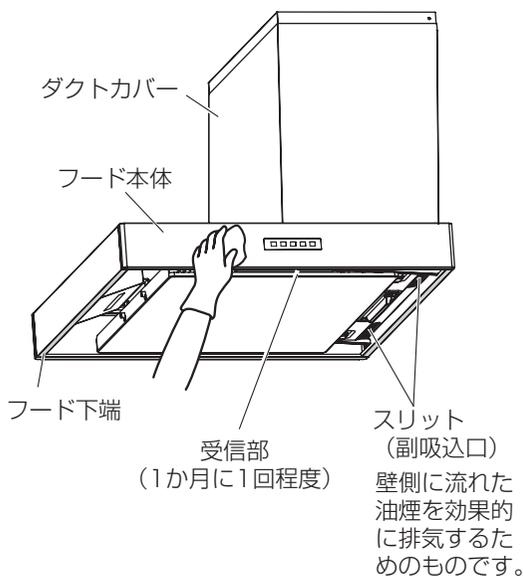
※お手入れのあとは
スイッチのロックを
解除してください。
(「切」を3秒長押し)

フード本体外側（内側）のお手入れ



お願い

・水や洗剤などを直接
吹きつけしないでください。
故障や誤動作の原因に
なります。



お願い

・油汚れを放置すると、受信性能が低下します。
・換気連動システムをご使用の場合は、調理
機器の送信部の汚れをふき取ってください。

- ①ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を浸した
布で油汚れをふき取る。

- ②水ぶきする。

・ご使用頻度や環境、調理の種類により汚れ具合
は異なり、付着した水分や油分が滴下するおそれ
がありますので、滴下前にふき取ってください。
・フード下端（油がたまる場合があります）や
スリット（壁側に2か所）に油が付着している場合
は、滴下前にふき取ってご使用ください。

お願い

・汚れが目立つ場合は、日常的にお手入れをして
ください。
フード本体に付着した油が滴下したり、汚れが
取れにくくなったり、部品が外れなくなる場合
があります。

「1か月に1回程度のお手入れ」→次ページ

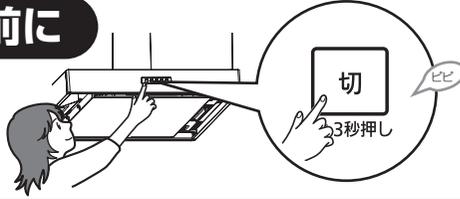
お手入れのしかた (続き)

お手入れ

1か月に
1回程度

お手入れの前に

- ①スイッチを
ロックする
「切」を3秒長押し



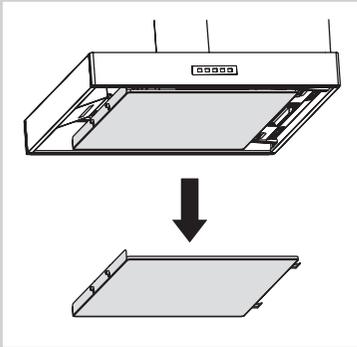
- ②厚手のゴム手袋
をする



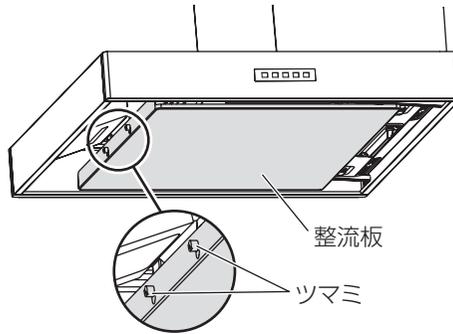
※お手入れのあとは
スイッチのロックを
解除してください。
(「切」を3秒長押し)

1 整流板のお手入れ (外しかた / 汚れを取る)

取り外す

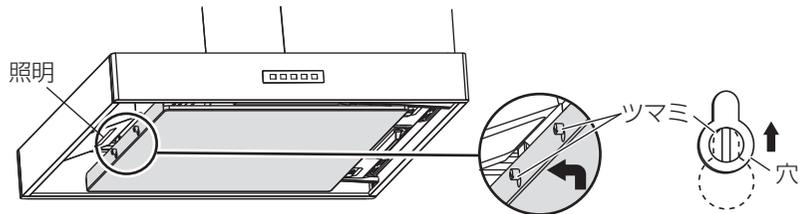


- ①整流板を固定しているツマミをゆるめる。

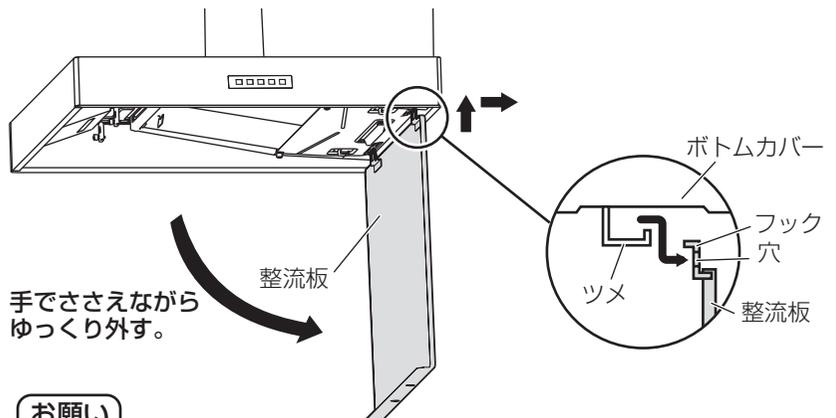


※ツマミは整流板が上に上がる程度に軽くゆるめる。ゆるめすぎると整流板が外しにくくなります。(1~3mm程度ゆるめる)

- ②整流板を両手で少し上に持ち上げ、照明側に引き、整流板の穴をツマミから外す。



- ③整流板を下までさげ、整流板をうかせて壁側に押しながら整流板のフックの穴をボトムカバーのツメから取り外す。



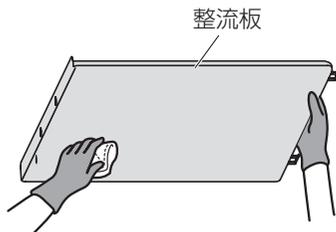
手でささえながら
ゆっくり外す。

お願い

整流板の開閉は、手でささえながらゆっくりおこなってください。
手を離すと、キッチンの一部などに干渉し落下したり、変形・破損のおそれがあります。

※油や結露水が流れ出ることがあります。
整流板を下まで下げる前に、内側を確認し、たまった油や結露水はキッチンペーパーなどでふき取ってください。

汚れを取る



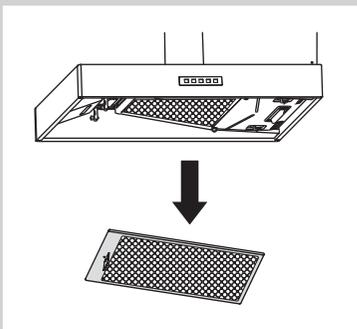
- ①水分を含ませたスポンジ・ふきんなどで汚れをふき取る。
- ②がっさな汚れの場合は、台所用中性洗剤に浸したスポンジで汚れをふき取る。洗剤が残らないように水ぶきする。

お願い

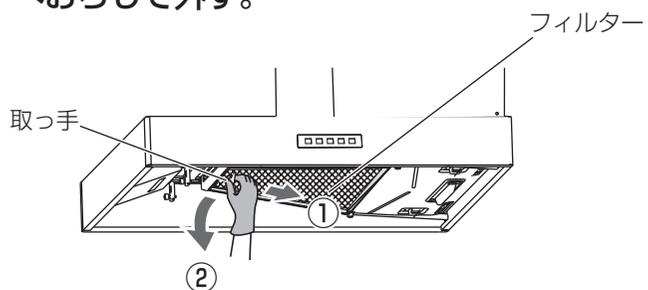
・外した整流板は平らな場所でお手入れをしてください。変形・傷の原因となります。

2 フィルターのお手入れ（外しかた／汚れを取る）

取り外す

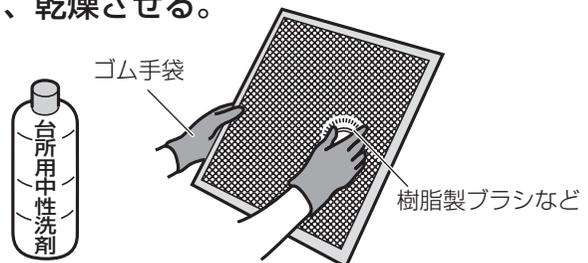


- ①フィルターの取っ手を持ち、壁側に押す。
- ②下へおろして外す。



汚れを取る

- ①台所用中性洗剤と樹脂製ブラシなどで汚れを落とす。
- ②洗剤が残らないようによく洗い流し、水分をよくふき取り、乾燥させる。



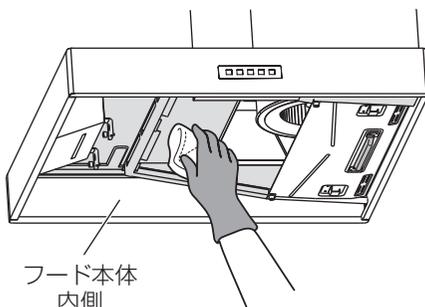
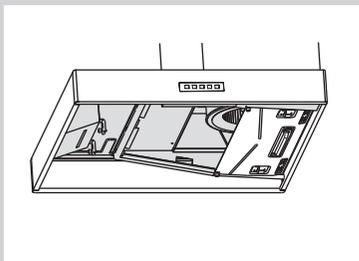
お願い

- ・金属製たわしなどは使わないでください。
- ・食器洗い乾燥機では洗わないでください。アルカリ性洗剤を使用しているため、塗装の変質、変色、はがれが生じることがあります。
- ・常時換気設備としてご使用の場合、フィルターにほこりが付着して吸い込みが悪くなることがありますので、こまめにお手入れしてください。

お手入れのしかた (続き)

3 フード本体内側のお手入れ (汚れを取る)

汚れを取る

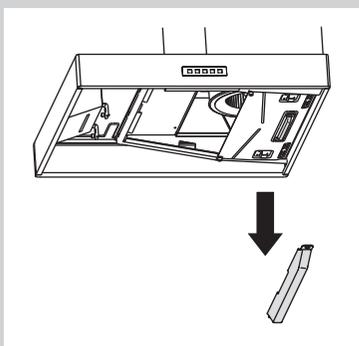


フード本体
内側

台所用中性洗剤に浸したスポンジで汚れをふき取る。洗剤が残らないように水ぶきする。

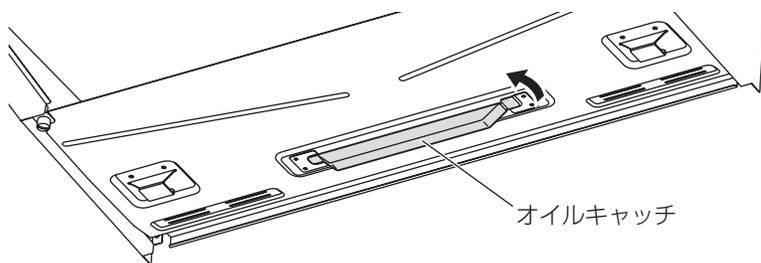
4 オイルキャッチのお手入れ (外しかた / 汚れを取る)

取り外す



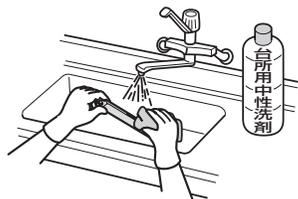
※油だれに注意してください。

① オイルキャッチを手前に引いて外す。



オイルキャッチ

汚れを取る

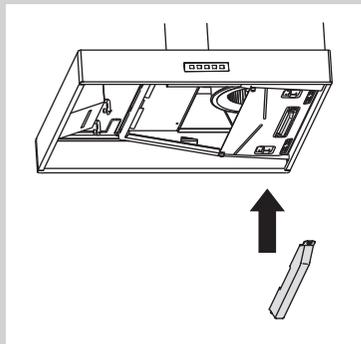


- ① 油や結露水がたまっている場合は、キッチンペーパーなどでふき取ってから、台所用中性洗剤で洗う。
- ② 洗剤が残らないようによく洗い流し水分をよくふき取り、乾燥させる。

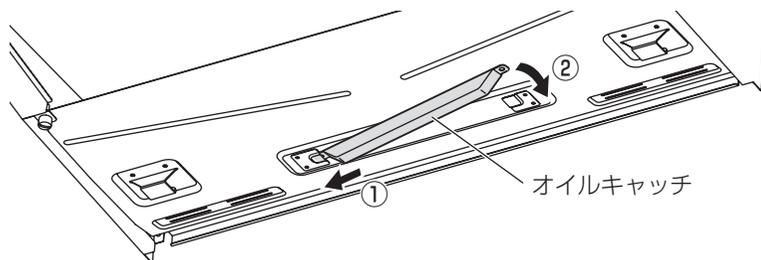
- ・ 使用状況により、油や結露水のたまる量は異なります。
- ・ 冬期など結露の生じやすい時期は、たまった水をこまめに捨ててください。
- ・ 油の使用量、コンロの違いなどの使用環境により油や結露水がたまらない場合がありますが、異常ではありません。
- ・ 汚れたまま放置したり、ご使用などで部品が傷んできたら、お早めに交換してください。
(オイルキャッチは消耗部品としてお求めになれます)

5 オイルキャッチを取り付ける

取り付ける



- ① オイルキャッチのツメをボトムカバーの溝に差し込む。
- ② もう1方のツメをフード本体の反対側の溝に差し込む。



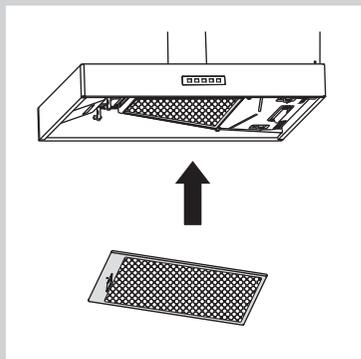
※「オイルキャッチ」の刻印を手前に向けて取り付けてください。

お願い

オイルキャッチがきちんと固定されているか確認してください。固定されていないと落下するおそれがあります。

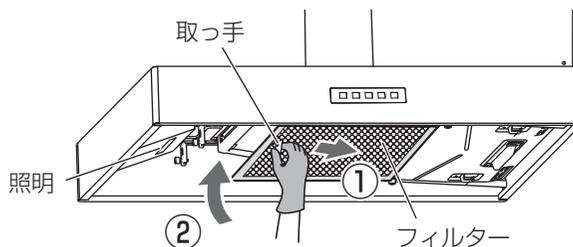
6 フィルターを取り付ける

取り付ける



- ① フィルターの取っ手を持ち、壁側に押す。
- ② 押し上げて取り付ける。

※取っ手が照明側になるように取り付けてください。



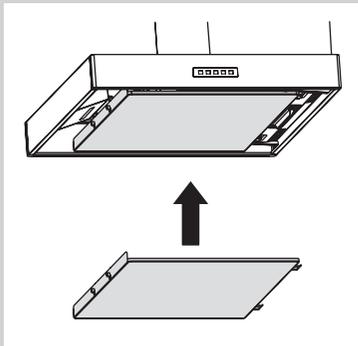
お願い

フィルターがきちんと固定されているか確認してください。固定されていないと落下するおそれがあります。

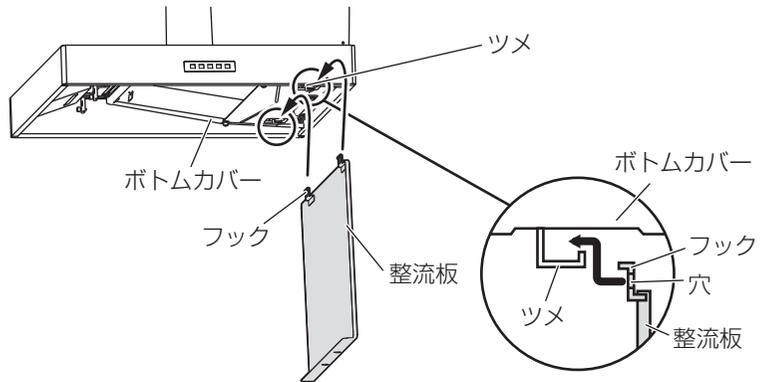
お手入れのしかた (続き)

7 整流板を取り付ける

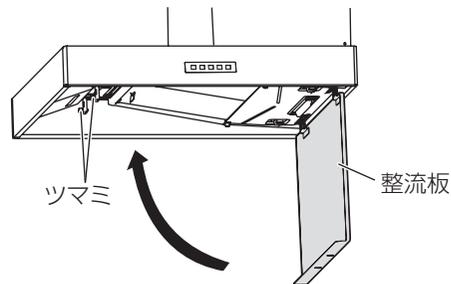
取り付ける



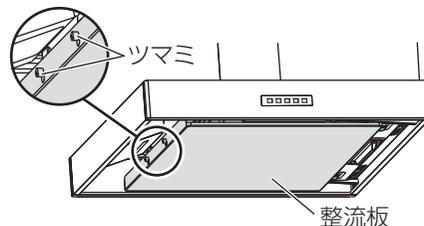
①整流板を両手で持ち、フックの穴をボトムカバーのツメに壁側から掛ける。



②整流板を両手でおこして、フード本体のツマミに掛ける。



③ツマミを締め込む。



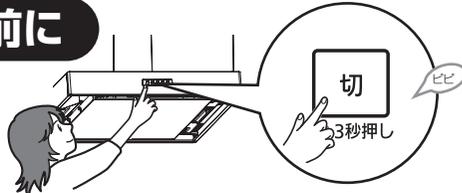
お願い

- ・整流板がきちんと固定されているか確認してください。整流板の開閉は、手でささえながらゆっくりおこなってください。固定されていないと落下するおそれがあります。
- ・フード本体に整流板を完全に取り付けるまでは手を離さないでください。手を離すと、キッチンの一部などに干渉し落下したり、変形・破損のおそれがあります。

※お手入れのあとは
スイッチのロックを
解除してください。
〔切〕を3秒長押し

お手入れの前に

- ①スイッチを
ロックする
〔切〕を3秒長押し



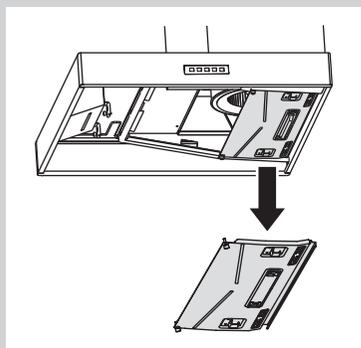
- ②厚手のゴム手袋
をする



- 1 整流板・フィルター・オイルキャッチのお手入れをする
(1 ~ 4 10~12ページ)

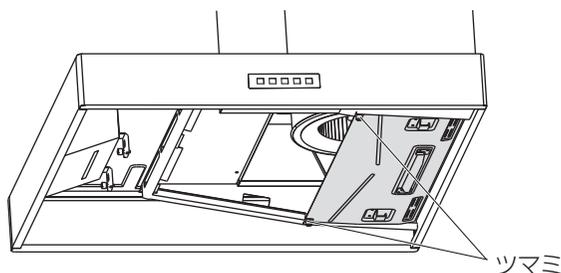
- 2 ボトムカバーのお手入れ (外しかた / 汚れを取る)

取り外す



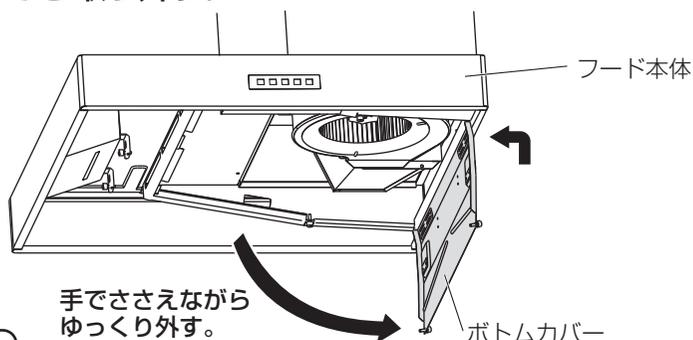
※油や結露水が流れ出ることが
あります。
ボトムカバーを下げる前に、
内側を確認し、たまった油や
結露水はキッチンペーパー
などでふき取ってください。

- ①つまみをゆるめる。



- ②両手でボトムカバーを持ち、ゆっくり下げる。

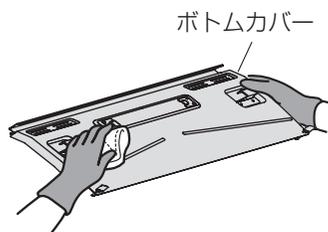
- ③ボトムカバーを少し持ち上げ、フックをフード本体の
ツメから取り外す。



お願い

ボトムカバーの開閉は、手でささえながらゆっくりおこなってください。
手を離すと、キッチンの一部などに干渉し落下したり、変形・破損のおそれがあります。

汚れを取る

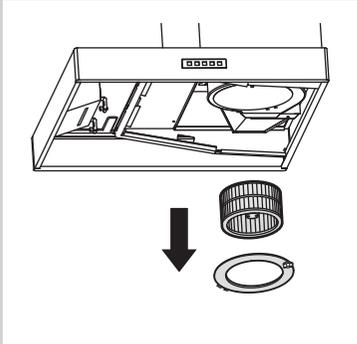


- ①水分を含ませたスポンジ・ふきん
などで汚れをふき取る。
②がっさな汚れの場合は、台所用中性
洗剤に浸したスポンジで汚れをふき
取る。
洗剤が残らないように水ぶきする。

お手入れのしかた (続き)

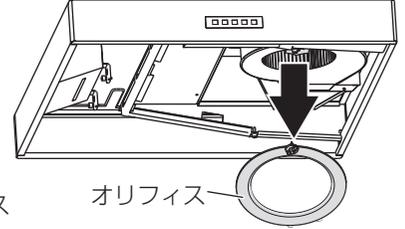
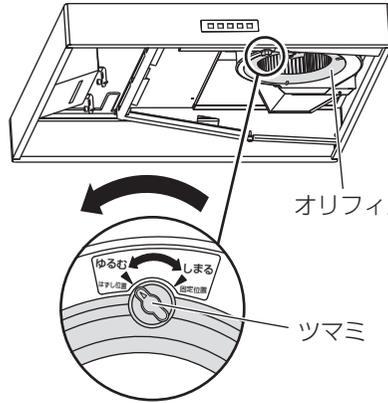
③ 羽根・オリフィスのお手入れ (外しかた)

取り外す



※油や結露水が流れ落ちないようにオリフィスを水平に保って外してください。

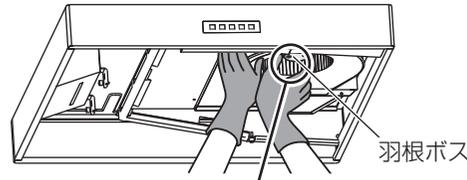
①オリフィスのつまミを持ち、「ゆるむ」の方向に回し、オリフィスを外す。



お願い

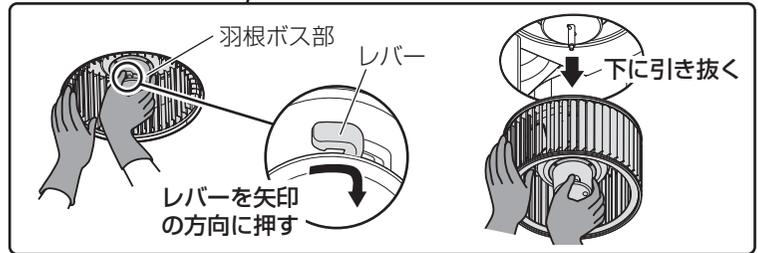
オリフィスは手でささえ、落下しないようゆっくり外してください。

②手で羽根を保持し、羽根ボス部のレバーを矢印の方向に押しながら、羽根を下に引き抜く。



お願い

羽根は手でささえ、落下しないようゆっくり外してください。



汚れを取る



お願い

羽根の回転バランスをとるために balancer (重り) が付いている場合があります。絶対に外したり、動かしたりしないでください。異常や故障の原因となります。



①ぬるま湯を入れた容器に羽根、オリフィスを浸し、樹脂製ブラシなどで汚れを洗い落とす。

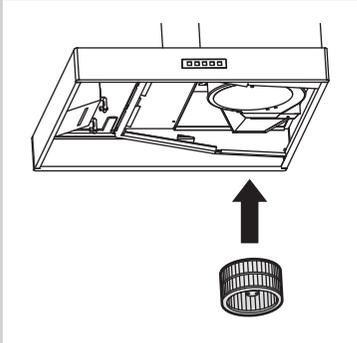
・しつこい汚れには、台所用中性洗剤を使用してください。金属たわしなどの硬いものは、表面を傷付けることがありますので、使用しないでください。

②洗剤が残らないようによく洗い流し水分をよくふき取り、乾燥させる。

・羽根はシャフトに挿入する部分に潤滑剤などをさしてから取り付けてください。シャフトの錆止めになり、羽根の取り外し性を維持します。

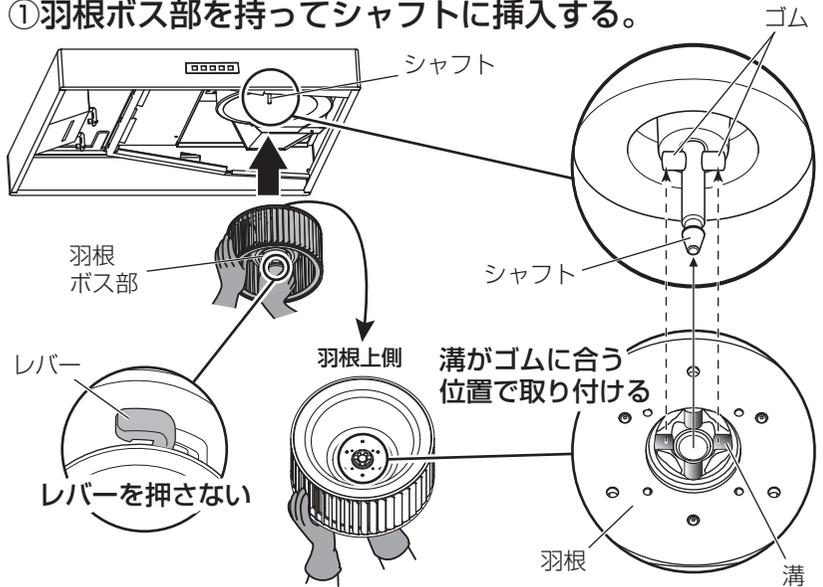
4 羽根を取り付ける

取り付ける

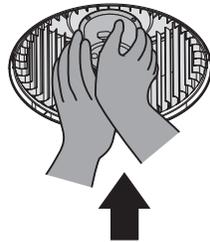


- ※羽根は変形させないように十分気を付けてください。
- ※シャフトにゴムが付いているか確認してください。

①羽根ボス部を持ってシャフトに挿入する。



②奥まで押し込む。



- ※羽根が突き当たるまで十分に押し込むとはまります。

お願い

1. 羽根は両手で奥まで強く押し込む。

- ※突き当たるまで押し込んでください。
- ※羽根ボス部を両手で上に強く押してください。
- ※取り付け時はカウンターに乗らないで、踏み台などを使用してください。カウンターが割れる可能性があります。



2. 両手で強めに引っ張って確認する。

- ※固定が不十分な場合、外れることがあります。ご注意ください。

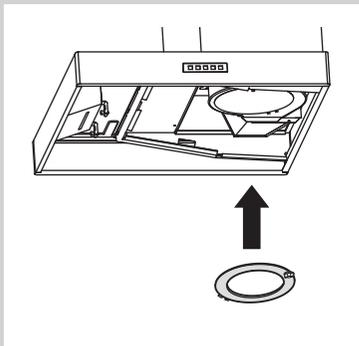


※羽根が完全に挿入されていないと、羽根が外れる原因になります。

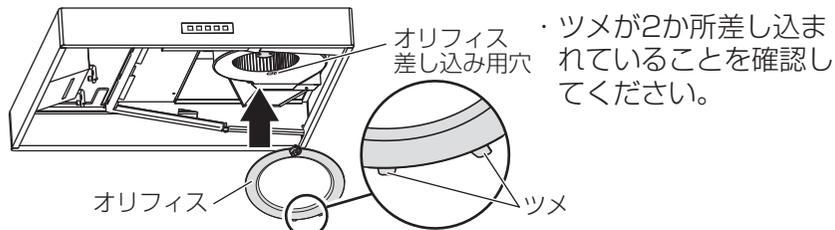
お手入れのしかた (続き)

5 オリフィスを取り付ける

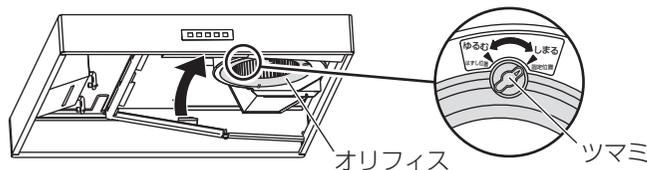
取り付ける



①オリフィスのツメ (2か所) をオリフィス差し込み用穴に差し込む。

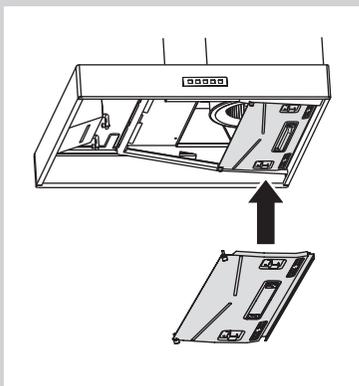


②オリフィスのツマミを「はずし位置」に合わせ、「しめる」の方向に回し、ツマミの矢印を「固定位置」に合わせる。

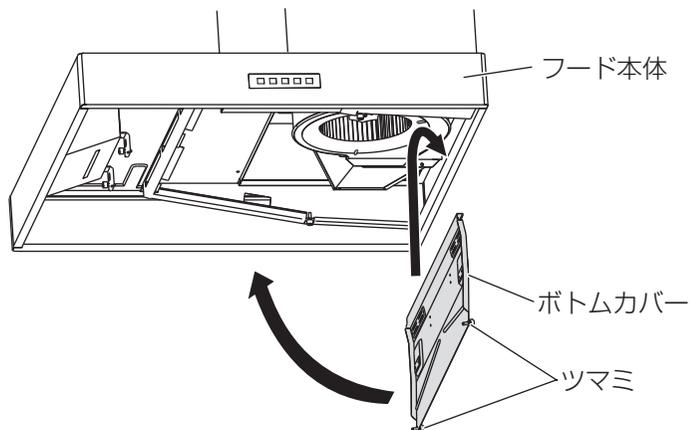


6 ボトムカバーを取り付ける

取り付ける



①ボトムカバーを両手で持ち、フード本体に掛ける。
②ゆっくり持ち上げ、ツマミを締め込む。



お願い

- ・ボトムカバーがきちんと固定されているか確認してください。ボトムカバーの開閉は、手でささえながらゆっくりおこなってください。
- ・固定されていないと落下するおそれがあります。
- ・フード本体にボトムカバーを完全に取り付けるまでは手を離さないでください。
- ・手を離すと、キッチンの一部などに干渉し落下したり、変形・破損のおそれがあります。

7 フィルター・オイルキャッチ・整流板を取り付ける (5~7 13~14ページ)

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

故障かな！？ 修理を依頼される前に次の点をもう一度ご確認ください。

お問い合わせや修理を依頼される前に、まずご確認ください。

1  下記の項目を読み、該当する内容がないか確認する。
該当する項目が無ければ・・・

2  「品番表示位置」で、製品の品番を確認する。

3  お買い上げの販売店または裏表紙に記載のご相談窓口にご電話する。

症 状	原 因	対 応 (参照ページ)
運転しない	スイッチがロックされていませんか。	ロックを解除してください。(5ページ)
	分電盤のブレーカーが「切」になっていませんか。	分電盤のブレーカーを「入」にしてください。
吸い込みが悪い	屋外フードが目づまりしていませんか。	屋外フードを清掃してください。
	フィルターが汚れていませんか。	清掃してください。(10~14ページ)
	給気は十分ですか。	十分な給気を確保してください。
	エアコンなどの風があたっていませんか。	風があたらないようにしてください。
換気連動しない (調理機器を「入・切」してもサイドフードが動作しない)	換気連動モードが解除されていませんか。	換気連動モードを再設定してください。(7ページ)
	送信部・受信部が汚れていませんか。	清掃してください。(9ページ)
	<IH調理機器の場合> 鍋などで送信部が隠されていませんか。	送信部が隠れないようにしてください。(6ページ)
	<ガス調理機器の場合> ・赤外線信号が反射できていない おそれがあります。	送信部の近くに立ちすぎたり、離れすぎている場合、動作しないことがあります。(6ページ)
<ガス調理機器の場合> ・調理機器の電池が消耗していませんか。	調理機器の電池を確認してください。(6ページ)	
調理機器側の操作でファンの運転が停止しない	常時換気モードに設定されていませんか。	設定を解除してください。(7ページ)
調理機器と連動して照明が点灯/消灯しない	照明連動モードが解除されていませんか。	再設定してください。(7ページ)
	手で照明を操作しませんでしたか。 (直前に手で操作した場合、 手動操作が優先されます)	手で照明を消灯してください。 (5~6ページ)
運転終了直後に風切り音がる	電動シャッターを使用していませんか。	故障ではありません。 シャッターが閉まるときに空気 の通路が狭くなるために起こる音です。
異常音がる	オリフィス固定のツマミがゆるんでいませんか。	ツマミを締め直してください。 (18ページ)
	フィルターが汚れていませんか。	清掃してください。(10~14ページ)
	給気は十分ですか。	十分な給気を確保してください。
給気電動シャッターが閉じるのが遅い	—————	故障ではありません。 シャッターからの風切り音を低減 させるためです。

処置したあとに、なお異常がある場合は、ご使用を中止し、必ず分電盤のブレーカーを切り、お買い上げの販売店・工事店または裏表紙に記載のご相談窓口にお問い合わせください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電話 () -
お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな!？」(20ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

- | | |
|--------|-----------|
| ●製品名 | サイドフード |
| ●品番 | |
| ●故障の状況 | できるだけ具体的に |

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **6年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年保有しています。

●転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙に記載のご相談内容に応じた窓口にご相談ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニックハウジングソリューションズ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

消耗部品	品番	必要個数
フィルター	QGE163R013	2
オイルキャッチ	SEH0250013	1

※フィルターはアルミ製、オイルキャッチは鋼板製です。廃棄方法は、各市町村の処理方法に従ってください。

仕様

品番	質量 (kg)	電源	風量調節	消費電力 (W)	換気風量 (m ³ /h)		騒音 (dB)
					0Pa時	100Pa時	
S82AHWZ2MR S82AHWZ2ML	16	a.c.100V 50/60Hz	強	82.5/94	527/508	434/423	45.5/45
			弱	46/49	320/305	—	34/33
			常時	14/17.5	149/158	—	19.5/22.5

- 上記仕様は静圧 0 Pa (パスカル) 時の値です。
静圧 0 Pa (パスカル) とは、サイドフードにおよぼす圧力が「0 (ゼロ)」の状態を示します。
- このサイドフードは、ご使用にならないときでも約0.5Wの電力を消費しています。
- サイドフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。
- 消費電力・換気風量・騒音の測定は JIS C 9603 によります。
- 騒音値は当社無響音室で測定した値ですので、実際に設置した状態では反響などの影響を受け、表示数値より高くなります。

サイドフード保証書

※お 客 様	お名前	様	※お引渡し日	年	月	日
	ご住所		シリーズ・品番	S82AHWZ2MR/S82AHWZ2ML		
	電話番号					
※販 売 店	取扱販売店名・住所・電話番号		保証期間（お引渡し日から）	1年間		
				（ただし消耗部品は除く）		

ご販売店様へ 上記※印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

本書はお引渡し日から本書に明示した期間が経過した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものではありません。

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の記載にあった使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
 - (ロ) お買い上げの販売店に無料修理を依頼になる場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
 - (ハ) この商品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の故意・過失または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) 消耗部品（電球、フィルター、電池）の取替えや修理
 - (ハ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
 - (ニ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）等による故障及び損傷
 - (ホ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - (ヘ) 仕上げのキズ等で、お引き渡しになったもの
 - (ト) 瑕疵によらない自然の磨耗、さび、かび、変質、変色、その他類似の事由による場合
 - (チ) 維持管理の不備による汚れ、さび等
 - (リ) 取付設置説明書に記載された方法以外の他の内容に起因する損傷や故障
 - (ヌ) 契約時、実用化されていた技術ではなかった可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合
 - (ル) 保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかったもの
 - (ラ) 一般家庭用以外（例えば業務用等）に使用された場合の故障及び損傷
 - (ワ) 本書のご提示がない場合
 - (カ) 保証書にお引き渡し年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合（領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません）、あるいは字句を書き替えられた場合
- 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
- 無料修理により取り外された部品・製品は、弊社の所有になります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- お客様ご相談窓口は裏表紙をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

パナソニックハウジングソリューションズ株式会社 水廻りシステム事業部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048

TEL(06)6909-7676(代表)

パナソニックエコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番

TEL(0568)81-1511(代表)

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。
 【設計上の標準使用期間】10年
 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
 ※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件 日本産業規格 JIS C 9921-2 による

環境条件	電圧	単相100Vまたは単相200V		機器の定格電圧による
	周波数	50Hzおよび / または60Hz		
	温度	20℃		JIS C 9603参照
	湿度	65%		
	設置条件	標準設置		機器の取付設置説明書による
負荷条件	定格負荷 (換気量)		機器の取扱説明書による	
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 ^{a)}		
		台所	2410時間/年	
		居室	2193時間/年	
		トイレ	2614時間/年	
		浴室	1671時間/年	
注 ^{a)} 常時換気 (24時間連続換気) のものは、8760時間/年とする。				

消耗品・交換部品・
後付パーツの
ご用命は

ハイ・パーツショップ 一般のお客様用

<https://sumai.panasonic.jp/parts/>

【受付時間】 月～金 / 9:00～18:00 土・日・祝日 / 9:00～17:00

 **0120-055-802**
※携帯電話からもご利用になります。

※GW休暇・夏季休業・年末年始はお休みまたは受付時間を変更させていただく場合があります。
 ※ビジネスのお客様はお取引先の販売ルートへお問い合わせください。
 ●左記番号がご利用いただけない場合は…**06-6906-1224**



修理のご用命は

修理ご相談窓口 ※インターネットでの依頼も可能です。

<https://sumai.panasonic.jp/support/repair/>

【受付時間】 月～土 / 9:00～19:00 日・祝日・年末年始 / 9:00～18:00

 **0120-872-150**
※携帯電話からもご利用になります。

●左記番号がご利用いただけない場合は…**06-6906-1090**



商品の
お問い合わせは

住宅設備・建材商品ご相談窓口

<https://sumai.panasonic.jp/support/>

【受付時間】 365日 / 9:00～18:00

 **個人のお客様 0120-878-093** ●左記番号がご利用いただけない場合は…**06-6780-5779**
法人のお客様 0120-187-150 ●左記番号がご利用いただけない場合は…**06-6904-7270**
※携帯電話からもご利用になります。

●FAX…  **0120-872-460**



Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
 Open: 9:00 – 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。
 ・ご使用の回線 (IP電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
 ・本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検

長年ご使用のサイドフードの点検を！



このような
症状はあり
ませんか

- スイッチを入れても回転音が不規則に聞こえたり回転しない。
- 運転中に異常音がしたり振動がある。
- 異臭がする。
- その他、異常を感じる。

ご使用
中止

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、必ずお買い上げの販売店または工事に点検・修理を依頼してください。

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社
 パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番

© Panasonic Corporation 2016-2022

7HGP3R202FMD6-P0216-6092